

令和2年度主要な施策の進捗状況

市民力を結集し「選ばれるまち」へ

企画政策課 ☎(88)9111

市では、平成30年度からスタートした第8次総合計画「須賀川市まちづくりビジョン2018」に基づき、まちづくりに取り組んでいます。今月号では、令和2年度の主な施策の進捗状況についてお知らせします。

政策1 いきいきと人が輝くまちづくり

幼児教育・保育の充実

3～5歳児を対象とした市独自の給食費無償化を継続しています。また、保育の質の向上と待機児童の解消のため、新卒・潜在保育士の私立保育所などへの就職に対し一時金を交付し、子育てしやすい環境づくりに取り組んでいます。



長沼幼稚園なわとび会(2月5日)

文化芸術の振興と継承

昨年10月に開館した「風流のはじめ館」や、11月に開館した「須賀川特撮アーカイブセンター」を拠点に、本市の特長である「俳句文化」と「特撮文化」を発信し、ふるさと須賀川への愛着や誇りづくりに取り組んでいます。



1月18日に入館者が1万人を達成した須賀川特撮アーカイブセンター

政策2 笑顔で健やかに暮らせるまちづくり

安定した地域医療体制の確保

住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けられるよう、公立若瀬病院などの運営支援を行い、安定した地域医療体制の確保に取り組んでいます。

福祉ネットワークの推進

昨年4月に、子育てや生活困窮、障がい、介護などの相談をワンストップで行う「福祉まるごと相談窓口」を開設し、福祉に関わる様々な相談を受け付け、困りごとなどの解決を支援しています。



開設から2,200件以上の相談が寄せられている福祉まるごと相談窓口

政策3 安全に安心して暮らせるまちづくり

防災・減災対策の推進

浸水想定区域などに居住している希望者へ、防災行政無線戸別受信機の無償貸与や屋外スピーカーの増設など、防災情報伝達の充実を図っています。

高齢者の交通事故防止対策

運転免許証を自主返納した70歳以上の高齢者に、1万円相当のバスやタクシーの利用券を交付し、高齢運転者の交通事故防止に取り組んでいます。



政策4 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

生活道路の整備

市民生活の基盤として、道路の安全性や利便性、快適性の向上を図るため、生活道路の改良や舗装、側溝整備などを進めています。

須賀川駅西地区の整備

東西幹線道路の築造工事と東西自由連絡通路や駅前広場の整備を計画的に進めています。

また、地域住民や高校生などによる「まちづくりワークショップ」を開催し、駅周辺のにぎわい創出に取り組んでいます。



須賀川駅周辺地区まちづくりワークショップ(令和2年12月9日)

政策5 活力とにぎわいあふれるまちづくり

企業誘致の推進

本市の立地環境の優位性や利便性、全国トップクラスの企業立地支援制度をアピールし、企業誘致を推進しています。

農業経営の安定確保

米価の安定と農業所得の向上を図るため、飼料用米や加工用米、転作作物などに対する助成を継続しています。

また、市の特産品である「きゅうり」の選果場設備更新に支援を行い、農業経営の安定確保に取り組んでいます。



4月から11月にかけて行われる「きゅうり」の選果作業(きゅうりん館)

観光振興と交流促進

新型コロナウイルス感染症の収束後のインバウンド需要を見据えて、観光情報誌の多言語化や、企業向けインバウンド対応セミナーの開催に取り組んでいます。

その他の主な事業

市民交流センター tetteの活用

昨年12月に来館者数が100万人を達成するなど、あらゆる世代の皆さんに利用されています。

引き続き、市民交流の拠点や中心市街地活性化の中核施設として、まちなかの活性化に取り組んでいます。



100万人目の来館者に記念品をプレゼント(令和2年12月3日)

原子力災害対策

除染作業を先行して実施した長沼、仁井田、西袋、稲田地区の計17行政区から除去土壌等の搬出作業を進め、令和3年度中の搬出完了に向けて取り組んでいます。

シティプロモーションの推進

市民の皆さんが郷土に誇りや愛着を感じ、シビックプライドの醸成へとつながるための冊子の作成などに取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染拡大防止対策に取り組むとともに、事業の見直しを行いながら医療機関や産業などへの支援、次世代を見据えたデジタル化の推進などに取り組んでいます。



「心に花を咲かせようプロジェクト」で寄せられた医療従事者等へのメッセージ